

平成21年3月24日

各位

上場会社名 三洋電機株式会社  
 代表者 代表取締役社長 佐野 精一郎  
 (コード番号 6764)  
 問合せ先責任者 経理部部长 岡崎 隆昭  
 (TEL 06-6991-1181)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年1月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	1,900,000	30,000	△20,000	0
今回発表予想(B)	1,760,000	0	△107,000	△90,000
増減額(B-A)	△140,000	△30,000	△87,000	△90,000
増減率(%)	△7.4	△100.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,017,824	76,141	57,228	28,700

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	1,050,000	5,000	△7,000	△50,000
今回発表予想(B)	990,000	△10,000	△30,000	△100,000
増減額(B-A)	△60,000	△15,000	△23,000	△50,000
増減率(%)	△5.7	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,417,946	15,892	2,934	18,905

## 修正の理由

米国金融危機に端を発する世界景気の低迷、实体经济の急激な悪化は、第4四半期に入ってから更に深刻さを増しており、連結決算においては、特に二次電池、電子部品、半導体等のコンポーネント部門が悪化し、売上高、営業利益は減少する見込みです。更に半導体を中心とした固定資産減損等の追加構造改革の実施などにより、税引前当期純利益、当期純利益は前回予想を大きく下回る見込みです。

また、単独決算においても連結決算と同様に、売上高、営業利益、経常利益が悪化し、半導体関連の関係会社株式減損が想定されることから、当期純利益は前回予想を大きく下回る見込みです。

本資料に掲載されている過去の事実以外の記述は、三洋電機の現在の計画、見通し、戦略などから予測した将来の業績に関する見通しであり、これらは、現時点で得られる情報をもとにして当社で経営判断したものであります。従いまして、取得する情報の正確性や信頼性について、保証を行うものではありません。これらの情報にのみ全面的に依拠することはなさないようにお願いします。  
 業績見通しには、さまざまなリスクや不確実性などの変動要因を含んでおり、影響を与え得る重要な要因には次のようなものがあります。  
 1) 当社が取り組んでいる事業における経済情勢や資本市場の大幅な変動や消費動向の変化。2) 国際的な事業展開を行ううえで米ドルまたはその他の通貨と円との為替レートの変動。3) 各国市場における様々な貿易規制。4) 急激な技術革新、市場競争、価格競争のなかで当社が新技術、新商品、サービスを提供できる能力、など。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものでなく、潜在的なリスクや不確実性を含んでおりますので、ご承知おきください。

以上